JRCA 2026 年度 第 7 回 理事会　議事録

2026 年 7 月 22 日（水）19:00～　Web 会議
参加者： 福永会長、伊藤、中島、佐藤、
高桑、白井、斉藤、石城、西井、
津田

1.2026 年度 全日本ラリー選手権 第 5 戦「2026 ARK ラリー・カムイ」について

・全日本ラリー選手権 第五戦「2026 アークラリー・カムイ」振り返りと運営課題
①3 日間の雨天によりサービスパークの路面状況が悪化し、歩行・車両通行に支障。路面の傾斜で作業者の体調不良も発生していた。
・一部区間で泥濘が深刻化し、2 輪駆動車がスタック。SS3（5km）で 9 台リタイアとなり、SS6 はキャンセルとなった。
・来年はサービスパークの場所変更の可能性（主催者情報）。
・悪天候時のサービスパーク環境の脆弱性が顕在化。排水・舗装・配置見直しを含む対策と次年の配置変更案に期待する。
②メディア向けトラッキング導入の評価
・主催者がタバードメディア用の別イベント番号でスマホトラッキングを導入。競技進行に干渉せず、現在地把握と SOS 対応が可能となる。
・熊出没等の安全リスク対策や移動区間の速度抑制に効果。誤押下はあったが実際の SOS はなし。
タワードメディアで運用、他イベント展開に期待したい。
・提案：SOS 種別に「熊・動物被害」「銃被害」等を追加し、オフィシャルにも適用拡大。
・安全性・運営把握の向上に有効。機能拡張と対象拡大を検討。

2.その他

・海外（FIA エコラリーカップ等）の事例と新ラリー形式の視察について
・リトアニアはオフィシャル最小で観光型、ラトビアは WRC 経験者主催で競技性高い形式。全体のオフィシャルは約 50 名規模。
・EV 中心で 20～25 台（他にクラシック・ハイブリッド含め 30 台超）。スーツやヘルメット義務なしで参加ハードルが低い。
・GPS 機器で PC を自動計測し、指定速度（例：60km/h±5km/h）維持を競う。日本のアベレージラリーへの応用可能性あり。

3.次回理事会について

・次回理事会の日程をラリー北海道後（9/14 週木曜候補）で調整し、出欠確認をする。

以上